

第4回 地域の持続性調査2022

幸福度1位は沖縄県(2年連続)。愛着、定住意欲と3冠

鹿児島県が幸福度2位に急上昇、上位を九州が占める

2022年7月25日
株式会社ブランド総合研究所

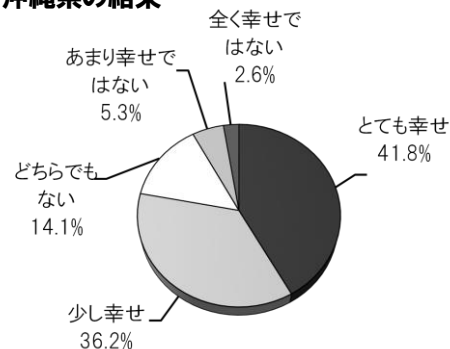
株式会社ブランド総合研究所は、このたび都道府県ごとの住民に対し、幸福度や定住意欲度など、地域の持続性につながる指標について調査する「第4回地域の持続性調査 2022」(調査対象者:各都道府県の住民約500人、有効回答数:22,973人、調査期間:5月20日~26日)をインターネットで実施しました。その結果、住民が最も「幸せである」と感じているのは沖縄県で2年連続1位となりました。

「あなたは幸せですか」という問いに対し、沖縄県の住民の41.8%が「とても幸せ」、36.2%が「少し幸せ」と答えるなど、およそ8割が「幸せ」と答えています。幸福度は77.4点で前年の78.1点よりわずかに減少したものの、2年連続1位となりました。その一方で、「全く幸せではない」はわずか2.6%、「あまり幸せではない」も5.3%と、ネガティブな意見がとても少ないのが特徴です。

2位は鹿児島県が75.4点で昨年調査の15位から順位、点数ともに大きく上昇。3位は宮崎県が74.9点でランクインするなど、上位3県のいずれも九州地区が占める結果となりました。4位は静岡県で昨年31位から大幅にランクアップとなりました。5位の福岡県も12位から上昇しています。上位には九州など西日本の県が多い一方で、東京都が46位、神奈川県が45位、千葉県が44位と、首都圏の都県は順位が低くなっています。

以下では本調査の特徴と、結果の一部を紹介します。

沖縄県の結果



◆幸福度の結果と、調査方法

この調査は、住民視点で「地域の持続性」を明らかにするために、各都道府県の住民による調査として実施しました。持続指標としては、幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度の4項目を数値化するとともに、それらの総合指標として「持続度」を算出した。

より詳細な分析を行うため、持続性に影響しているプラス要因として住民による地域の魅力度と自慢度、そして魅力要因を数値化。マイナス要因として住民が感じている悩みや課題を抽出し、数値化している。

「幸福度」は、「あなたは幸せですか」という問いに対し、「とても幸せ」、「少し幸せ」、「どちらともいえない

◆都道府県・幸福度ランキング(20位まで)

順位		都道府県	幸福度(点)		順位		都道府県	幸福度(点)	
22年	21年		22年	21年	22年	21年		22年	21年
1	1	沖縄県	77.4	78.1	10	5	愛媛県	71.9	71.8
2	15	鹿児島県	75.4	70.2	12	13	奈良県	71.6	70.9
3	2	宮崎県	74.9	73.0	12	18	香川県	71.6	70.0
4	31	静岡県	74.2	68.4	12	15	高知県	71.6	70.2
5	12	福岡県	73.9	71.1	15	24	岐阜県	71.5	69.1
6	27	和歌山県	72.7	69.0	15	22	滋賀県	71.5	69.3
7	28	佐賀県	72.6	68.8	15	9	大分県	71.5	71.3
8	14	長野県	72.2	70.7	18	6	岡山県	71.2	71.7
9	15	石川県	72.1	70.2	19	24	兵庫県	70.9	69.1
10	11	三重県	71.9	71.2	20	34	大阪府	70.5	67.7
					20	28	広島県	70.5	68.8

い」、「あまり幸せではない」、「全く幸せではない」の5段階で評価してもらい、それぞれ100点、75点、50点、25点、0点で加重平均した。

47都道府県の平均は70.1点となり、前年の69.2点より増加している。

◆世界遺産の鹿児島県上昇

4つの指標すべてにおいて鹿児島県が前年より大幅に点数が上昇している。幸福度は前年の70.2点から75.4点へと5.2点上昇し、順位も15位から2位へと急浮上した。生活満足度は18位から6位、愛着度は5位から3位、定住意欲度は17位から7位へと、いずれも大きく上昇している。その要因として、奄美大島、徳之島が世界自然遺産に登録されたことなどが考えられる。

◆持続度伸び1位は和歌山県

鹿児島県以上に持続度が伸びたのは和歌山県。前年の70.0点から73.3点へと3.3点上昇し、順位も35位から11位へと大幅に上昇した。同県の「魅力的なところ」として住民のうち82.4%が「海・山・川・湖などの自然が豊かなこと」を挙げている。

持続度の2位は福岡県で77.4点。幸福度が5位、生活満足度は1位、愛着度と定住意欲度はいずれも2位と県民からの評価が高い。

なお、47都道府県平均では幸福度、生活満足度は前年より上昇したが、愛着度と定住意欲度は下降している。その結果、持続度もわずかに下降している。

◆幸福度ランキング(21位以降)

順位		都道府県	幸福度		順位		都道府県	幸福度	
22年	21年		22年	21年	22年	21年		22年	21年
22	18	福井県	70.1	70.0	35	3	熊本県	68.4	72.4
23	4	山梨県	70.0	72.1	37	41	埼玉県	68.3	66.2
24	34	群馬県	69.7	67.7	38	24	愛知県	68.2	69.1
25	8	北海道	69.3	71.4	39	37	富山県	68.0	67.1
25	41	岩手県	69.3	66.2	40	43	青森県	67.8	66.1
25	32	宮城県	69.3	68.0	40	44	福島県	67.8	65.6
25	23	島根県	69.3	69.2	40	32	徳島県	67.8	68.0
29	34	山形県	69.2	67.7	43	21	栃木県	66.3	69.5
29	46	山口県	69.2	64.6	44	30	千葉県	65.9	68.5
31	20	鳥取県	68.8	69.7	45	46	神奈川県	65.8	64.6
32	38	新潟県	68.6	66.9	46	45	東京都	65.7	65.0
32	9	京都府	68.6	71.3	47	40	秋田県	65.0	66.5
32	6	長崎県	68.6	71.7	47		都道府県平均	70.1	69.2

◆生活満足度ランキング

順位		都道府県	生活満足度(点)		順位		都道府県	愛着度(点)	
22年	21年		22年	21年	22年	21年		22年	21年
1	3	福岡県	71.0	68.4	1	2	沖縄県	85.9	86.0
2	10	沖縄県	69.6	66.8	2	2	福岡県	83.0	86.0
3	24	宮崎県	69.2	64.9	3	5	鹿児島県	82.4	81.0
3	15	香川県	69.2	66.2	4	11	宮崎県	82.2	80.0
5	17	静岡県	68.8	65.9	5	1	北海道	80.9	86.7
6	18	鹿児島県	68.6	65.5	6	11	愛媛県	80.5	80.0
7	1	石川県	68.5	68.8	7	7	広島県	79.9	80.6
8	35	和歌山県	67.6	63.1	8	15	香川県	79.8	79.2
9	8	広島県	67.4	67.0	9	4	熊本県	79.6	84.0
9	8	奈良県	67.4	67.0	10	9	高知県	79.3	80.4
11	15	兵庫県	67.2	66.2	11	13	石川県	78.8	79.7
11	13	岡山県	67.2	66.3	12	17	兵庫県	78.6	78.6
13	22	大分県	67.1	65.1	13	38	大分県	77.9	75.1
14	34	大阪府	66.8	63.3	14	30	和歌山県	77.6	75.9
14	11	愛媛県	66.8	66.6	14	19	長崎県	77.6	78.2
47		都道府県平均	65.3	64.6	47		都道府県平均	76.4	77.6

◆定住意欲度ランキング

順位		都道府県	定住意欲度		順位		都道府県	持続度	
22年	21年		22年	21年	22年	21年		22年	21年
1	3	沖縄県	82.9	84.2	1	1	沖縄県	78.9	78.8
2	2	福岡県	81.8	84.6	2	3	福岡県	77.4	77.5
3	1	北海道	79.9	85.2	3	9	宮崎県	75.7	73.5
4	6	広島県	78.4	80.0	3	12	鹿児島県	75.7	73.2
5	13	愛媛県	77.1	77.0	5	14	香川県	74.3	73.1
6	12	香川県	76.7	77.1	6	10	静岡県	74.2	73.3
7	17	鹿児島県	76.6	76.3	7	8	愛媛県	74.1	73.8
7	10	石川県	76.6	78.1	7	2	北海道	74.1	78.0
9	20	宮崎県	76.5	76.0	9	5	石川県	74.0	74.2
9	7	静岡県	76.5	78.7	9	6	広島県	74.0	74.1
11	15	大阪府	76.3	76.6	11	35	和歌山県	73.3	70.0
12	18	岡山県	75.9	76.2	12	28	大分県	73.1	70.7
13	40	大分県	75.8	71.3	12	14	兵庫県	73.1	73.1
14	8	兵庫県	75.6	78.5	14	17	高知県	72.9	72.6
15	21	高知県	75.5	75.9	15	23	大阪府	72.6	71.8
15	4	熊本県	75.5	80.6	15	4	熊本県	72.6	76.2
47		都道府県平均	73.7	75.4	47		都道府県平均	71.4	71.7

◆愛着度ランキング

順位		都道府県	愛着度(点)		順位		都道府県	幸福度	
22年	21年		22年	21年	22年	21年		22年	21年
1	2	沖縄県	85.9	86.0	35	3	熊本県	68.4	72.4
2	2	福岡県	83.0	86.0	37	41	埼玉県	68.3	66.2
3	5	鹿児島県	82.4	81.0	38	24	愛知県	68.2	69.1
4	11	宮崎県	82.2	80.0	39	37	富山県	68.0	67.1
5	1	北海道	80.9	86.7	40	43	青森県	67.8	66.1
6	11	愛媛県	80.5	80.0	40	44	福島県	67.8	65.6
7	7	広島県	79.9	80.6	40	32	徳島県	67.8	68.0
8	15	香川県	79.8	79.2	43	21	栃木県	66.3	69.5
9	4	熊本県	79.6	84.0	44	30	千葉県	65.9	68.5
10	9	高知県	79.3	80.4	45	46	神奈川県	65.8	64.6
11	13	石川県	78.8	79.7	46	45	東京都	65.7	65.0
12	17	兵庫県	78.6	78.6	47	40	秋田県	65.0	66.5
13	38	大分県	77.9	75.1	47		都道府県平均	70.1	69.2
14	30	和歌山県	77.6	75.9					
14	19	長崎県	77.6	78.2					
47		都道府県平均	76.4	77.6					

◆持続度ランキング

順位		都道府県	持続度		順位		都道府県	幸福度	
22年	21年		22年	21年	22年	21年		22年	21年
1	1	沖縄県	78.9	78.8	35	3	熊本県	68.4	72.4
2	3	福岡県	77.4	77.5	37	41	埼玉県	68.3	66.2
3	9	宮崎県	75.7	73.5	38	24	愛知県	68.2	69.1
3	12	鹿児島県	75.7	73.2	39	37	富山県	68.0	67.1
5	14	香川県	74.3	73.1	40	43	青森県	67.8	66.1
6	10	静岡県	74.2	73.3	40	44	福島県	67.8	65.6
7	8	愛媛県	74.1	73.8	40	32	徳島県	67.8	68.0
7	2	北海道	74.1	78.0	43	21	栃木県	66.3	69.5
9	5	石川県	74.0	74.2	44	30	千葉県	65.9	68.5
9	6	広島県	74.0	74.1	45	46	神奈川県	65.8	64.6
11	35	和歌山県	73.3	70.0	46	45	東京都	65.7	65.0
12	28	大分県	73.1	70.7	47	40	秋田県	65.0	66.5
12	14	兵庫県	73.1	73.1	47		都道府県平均	70.1	69.2
14	17	高知県	72.9	72.6					
15	23	大阪府	72.6	71.8					
15	4	熊本県	72.6	76.2					
47		都道府県平均	71.4	71.7					

◆物価上昇の悩みが 2.6 倍に

幸福度や生活満足度を低下させる要因を探るために、「あなた自身や家族が感じている悩みがあれば、いくつでもお選びください」という設問で、46 項目の悩みを提示した。すると、「不安や悩みはない」と答えた人は 17.3%で、前年の 16.3%より 1.0 ポイント増加した。そして選んだ悩みの個数は1人平均では 3.28 個で、前年の 3.47 個より減少している。

最も多かった悩みは「低収入・低賃金」で 35.2%(前年 35.9%)だった。次いで多かったのは「ストレス」で 26.3%(同 29.9%)だが、いずれも前年より少なくなっている。

前年の結果より悩む人が多くなったのは 6 項目で、「物価上昇」は前年の 8.3%からおおよそ 2.6 倍の 21.8%と急増している。次いで「電車やバスの路線廃止・減便」で前年の 7.5%から 0.8 ポイント増えて 8.3%となった。

逆に悩む人の減少幅が最も大きかったのは「運動不足」で前年 26.1%から 4.9 ポイント少ない 21.2%となった。次いで前出の「ストレス」の 3.6 ポイントの減少幅が大きい。

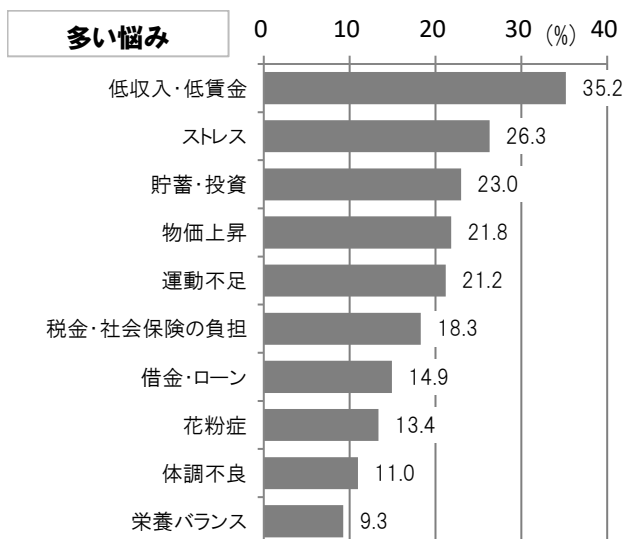
◆課題は人口減少と少子高齢化

愛着度や定住意欲の低下につながる要因を探るべく、「△△県において不満や課題(取り組むべきこと)があれば、いくつでもお選びください(△△は回答者が居住している都道府県名)」という設問で、50 項目を提示した。

その結果、「人口減少・過疎化」と「少子・高齢化」はいずれも 3 人に 1 人以上が課題と感じているという結果になった。また、「人口減少・過疎化」は前年の 30.1%から 4.0 ポイント、「少子・高齢化」は 30.4%から 3.2 ポイントそれぞれ増加しているが、その伸びは全項目の中で、1、2 番目に大きい。

そのほかに増加しているのは「学校の廃校・統合・減少」や、「子どもの貧困」、「いじめ・校内暴力・学級崩壊」など子どもや教育に関する項目。また、ウクライナ問題に関連して、「世界平和・国際交流」や、「国際犯罪・テロ対策」を課題と感じる人も増えている。

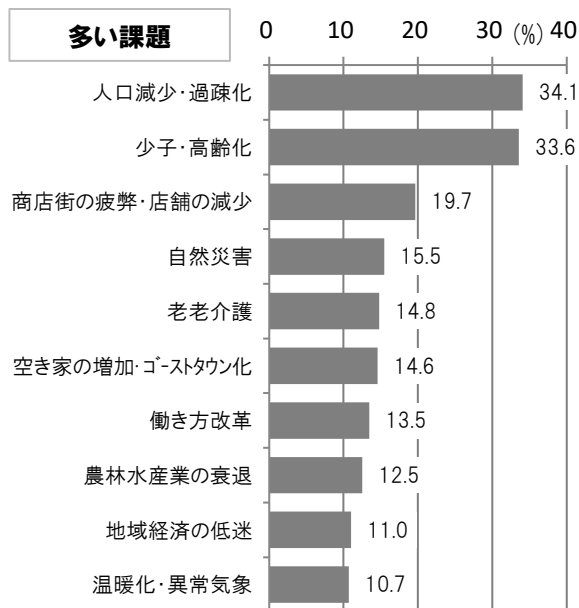
住民で悩む人が多いもの



悩む人が増えた項目

住民の悩み	2022	2021	差
物価上昇	21.8	8.3	13.5
電車やバスの路線廃止・減便	8.3	7.5	0.8
人材不足・後継者不足	3.9	3.5	0.4
受験・進学・学力問題	4.9	4.7	0.2
税金・社会保険の負担	18.3	18.2	0.1
渋滞・混雑	4.7	4.6	0.1

住民が感じる地域課題



課題と感じる人が増えた項目

地域の課題	2022	2021	差
人口減少・過疎化	34.1	30.1	4.0
少子・高齢化	33.6	30.4	3.2
農林水産業の衰退	12.5	11.0	1.5
学校の廃校・統合・減少	9.0	8.0	1.0
世界平和・国際交流	3.4	2.9	0.5
子どもの貧困	6.4	6.0	0.4
いじめ・校内暴力・学級崩壊	8.3	8.1	0.2
国際犯罪・テロ対策	2.6	2.5	0.1

<調査概要>

第4回地域の持続性調査 2022 は、15 歳以上の男女を対象に、2022 年 5 月 20 日から 26 日にかけてインターネットで調査を実施し、都道府県の住民をそれぞれ約 500 人ずつ計 23,520 人を回収し、調査時点で転居などの理由によりその地域に居住していない人を除く計 22,973 人の有効回答を得た。調査対象は47都道府県。幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度という持続指標と、魅力度、自慢度、魅力項目というロイヤルティ指標、そして住民の悩みと、地域の課題に関する設問から構成している。なお、前年度までは「地域版SDGs調査」として実施していたが、今回から地域の持続性に関する設問だけを切り離し、新たに「地域の持続性調査」とした。

- ・ 調査方法 インターネット調査
- ・ 調査対象 47 都道府県の登録調査モニター(15 歳以上)から、居住する都道府県別に抽出
- ・ 総回収数 計 23,520 人 (各都道府県から約 500 人ずつを回収)
- ・ 有効回答数 計 22,973 人 (各都道府県の回答者数は 476~514 人)
- ・ 調査時期 2022 年 5 月 20 日~5 月 26 日
- ・ 調査項目 持続指標: 幸福度、生活満足度、愛着度、定住意欲度
ロイヤルティ指標: 魅力度、自慢度、魅力項目(自然、交通など計 26 項目)
住民の悩み: 定収入・低賃金など 46 項目
地域の課題: 農林水産業の衰退など 50 項目
回答者属性: 年齢、性別、婚姻、子供の有無、世帯年収、居住形態など

<調査報告書>

・報告書冊子 (価格は税込)

基本セット: 96,000 円 総合報告書+個別報告書

総合報告書: 68,000 円 A4 判 約 150 ページ(データCD別売)

個別報告書: 48,000 円 A4 判 約 20 ページ(データCD付)

オプション: 総合報告書データ CD は 20,000 円 (調査結果のデータを Excel 形式で収録)

・電子データ (価格は税込)

データパック47(CD): 398,000 円 47 都道府県すべてのデータを収録

追加調査パッケージ: 350,000 円~ ご指定の市について追加調査を実施

・報告会・セミナー (価格は税込、交通費、報告書別途)

調査結果を基にセミナーまたは研修会を実施: 110,000 円

<ブランド総合研究所の会社概要>

「都道府県・魅力度ランキング」など地域・自治体の評価指標として全国で利用されている「地域ブランド調査」を毎年実施する地域や企業の調査およびコンサルティングを行う専門企業です。同調査以外にも、地域ブランドに関する調査やシティプロモーションなどの戦略立案を実施しています。また、英国ギネスワールドレコーズの公式パートナーとして各地でギネス世界記録への挑戦サポートも行っています。

代表取締役社長の田中章雄は地域ブランドの提唱者として全国で地域ブランドに関する講演を行っているほか、地域ブランドアドバイザーとして全国各地の地域の活性化に取り組んでいます。

- ・ 本社 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3階(〒105-0001)
- ・ 代表者 代表取締役 田中章雄
- ・ 資本金 2500 万円
- ・ 設立 2005 年 11 月

<問合せ先(メディアおよび読者とも)>

株式会社ブランド総合研究所 (担当 すりき)

Tel. 03-3539-3011(代) Fax.03-3539-3013

E-mail: sdgs@tiiki.jp